

さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより
令和2年度 第8号(2/1)
発行責任者: 校長 古正栄司
一色小学校: 0463-71-1543



新型コロナウイルス感染拡大を受けて、現在、神奈川県を含む11都府県を対象に緊急事態宣言が発出されています。対象期間は2月7日までです。予断を許さない状況が続いています。このことから、1月14日に、6年生の日光修学旅行を中止する旨を書いたプリントを6年生保護者宛てに配布しました。これほど辛く苦しい判断をしたことはありません。保護者の方々からは「何とか行かせてあげたい」「キャンセル料がかかってもいいから、ギリギリまで判断を待ってほしい」という声や、「修学旅行が中止になる状況で代替案を考えて大丈夫なのか」というご意見など、様々なご意見をいただきました。旅行中の車内や室内での3度の食事場面、人数を減らしたとはいえ5~6人で1室となる寢室、電車・バスの乗車時間の長さ、県境を越えての移動、旅行途中で体調不良者等発生した際の本人や迎えに行く保護者の負担、現地の感染拡大状況等、修学旅行を実施するにはあまりにも不安材料が多すぎました。結果、大変残念な判断をしました。

一方で、上述した不安要素を解消でき、かつ、状況が変化した場合に実施できるよう、代替案の日程や場所等を検討しています。

誰でも辛いときや苦しいときに家族や故郷が心の支えや拠り所となるように、子ども達にとって仲間と過ごした大切な時間、楽しかった思い出は、心の支えとなります。状況に応じて対応できるよう、準備をします。

また、コロナの影響で実施できなかった行事のキャンセルで保護者に負担が生じないよう、二宮町教育委員会は、今回修学旅行中止を決めた段階で既に発生したキャンセル料を、全額公費で負担できるよう調整中です。後日、改めてお知らせします。

3学期の様子

1年生の子ども達が生活科の学習で取り組んでいる、ヒヤシンスの水耕栽培の様子の写真です。こんなに寒くても、水だけでも、順調に育っていくヒヤシンスの世話をしながら、どんな事を感じているでしょうか。



生活科や理科では、観察を通じて自然の中にきまりを見つけたり、不思議さを感じたりし、さらにはそれらを関連付けたりすることができるようになります。中には、自分で調べてみたいという子も現れてきます。科学の素材として学ぶ一方で、花があるといい気持ちになれるなど、豊かな感性も併せて育ててくれることを願っています。



これは書初めの作品です。書初めの作品をどんどん焼きの火にくべる習慣はすっかり廃れてしまいましたが、「書初め」の方は

まだなんとか持ちこたえています。学校では、その年の夢や目標に向けて頑張ろうという気持ちを込めて1月に硬筆または毛筆で書初めを行います。写真は4年生の作品です。4年生ともなると筆を使って素晴らしい字を書く子がいるものです。見ていると、書いているときの緊張感が伝わってきます。

3学期の様子は次号でもお伝えします。

ふたみ記念館 にのみや子ども作品展

一色小学校児童の作品が展示されます。

期間は、2月2日(火)から2月14日(日)までです。時間は10時から16時、月曜日と火曜日が休館日です。過日配布しました「令和2年度 ふたみ記念館『にのみや子ども作品展』開催のご案内」プリントに付いている「常設展示室特別招待券」をお持ちいただくと、こちらも無料で観覧できます。

すでに二宮西中学校生徒の作分展示は終わっていますが、上の期間以降は二宮小学校、山西小学校、二宮西中学校の児童生徒の作品が順次展示されますので、お時間がありましたら、そちらもご覧になってください。



華厳の滝(秋)



華厳の滝(冬)



日光東照宮入口



日光東照宮

陽明門



日光東照宮

五重塔



日光東照宮

奥宮宝塔

※いずれの写真も「フリー写真素材Photock」から使用